夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢
新京日日新聞社 發行所
發行人 十河朱志男
編輯人 松本豐
印刷人 巻 一郎

内田外相參内
ル大統領への御返電案を上奏
直ちに手續をなす

〔東京二十日發聯通〕内田外相は二十日午後二時宮中に參内、米國ルーズヴェルト大統領の新提案に對する御返電案文を上奏御裁可を得、直ちにル大統領宛に返電の手續きをなしこれを發表した

〔東京廿日發聯通〕外務省發表 天皇陛下より米國大統領に對し、廿日午後四時左の如き御返電を御發出遊ばされた

朕ハ貴大統領カ米國政府ノ主張トシテ朕ニ送ラレタル電報本月十七日受信セリ朕ハ貴大統領カ世界平和ヲ確立シ世界的不況ヲ除却セントスル目的ヲ以テ發セラレタル今回ノ通告ニ對シ謝意ヲ表スルモノニシテ朕ノ政府ニ對シ該電報ヲ下附シ之ガ慎重審議ヲ命シタリ

海軍辭令

〔東京二十日發聯通〕

經理局長 主計中將 加藤亮一
補軍令部出仕
兼海軍省出仕
經理學校長主計少將 村上春一
任經理局長

御差遣使
出光少將入京

在滿海軍部隊狀況視察並びに慰問の爲長途遙々より御差遣の侍從武官出光海軍少將は、廿日午後七時五十分新京着、驛頭には駐滿海軍司令官小林少將以下海軍部員一同、岡村參謀副長を始め陸軍中樞部、橋本憲兵司令官以下憲兵隊員、高山署長等、滿洲國政府より阪谷希一氏並びに各要人其他川島芳子孃等日滿官民名士、各民團有志代表、各學校生徒等溢るばかりの出迎へだつた 出光侍從武官は一先づ驛貴賓室に入り、官民名士の挨拶を受けた後海軍司令部へ落付かれた

米國聯合通信社 ミ氏來京

新興滿洲國認識のため目下來滿中の米國聯合通信社特派員ミルス氏はハルピンより二十日午後三時三十五分着京直ちに大和ホテルに投宿したが數日滯在する豫定で武藤軍司令官及滿洲國側要人と會談の筈

興安省南部
牧畜改善に着手
勸業處長實地視察

興安省南分省科爾沁右翼前旗たる札薩克圖王府、森猛公府一帶の地は特に優秀なる放牧好地で興安總署勸業處に於てはこれら地方の畜產について調査研究を續けてゐるが、原勸業處長は、實地視察のため、廿日午前九時發「ハト」にて同地に出張、約二週間の豫定で同地方の研究を行ふことゝなつた 處長歸京の上は、その調査に基き積極的に同地方の牧畜改善に着手することゝなつた

上村南京總領事歸朝
靜養の上榮轉か

〔東京二十日發聯通〕南京總領事代理上村伸一氏は昨日歸朝、内田外相は靜養せしめ近く榮轉の意向である

『味の素』愈よ
積極的に滿洲進出
鈴木專務視察の爲め來京

味の素で有名な鈴木商店の專務取締役鈴木三郎助氏は、新興滿洲國に向つて一大飛躍を試むべく、十四日大連着奉天その他沿線各地の視察、二十日午前八時着列車で來京、明二十二日ハルピン視察に赴く筈であるが、新京に於ては滿洲國に敬意を表する意味で各方面を訪問する筈であるが、今回同氏の滿洲視察は世界的な調味王「味の素」の積極的滿洲進出の前提をなすものとして、内地同業者はもとより全滿各方面の注目をひいてゐる

追放命令を斷行
斷乎として不逞外人記者

ハルピンで問題を起した不逞新聞記者追放問題は、種々當局間に於て紛糾しつゝあるが滿洲國當局の意向としては、飽く迄規定方針に則り追放命令を斷行する方針で、右は國家主權の正當なる發動として滿洲國の態度は當然なるものと言明して居る

入超額
五十萬圓の微增

〔東京二十日發聯通〕入超額は前年同期より五十萬圓の微增に過ぎず、大体常態で貿易尻も改善の跡が見えるアメリカのインフレに依る爲替高騰も二十四弗附近に安定し、此の程度なら輸出の降下さならず、かへつて國際商品の値上りに依り生糸輸出に好影響を期待される

熱河經濟事情（七）
關東軍顧問 鈴木穆氏述

家畜の種類は牛、馬、羊及駱駝の四種類であります 蒙古馬は体軀矮少で速力及び輓力共に弱く乘馬としても輓馬としても大なる價値はないのですが寒氣及粗食に堪ゆる事が其の特徵であります 牛は食用にも役用にも良種と稱することは出來ません山東牛には劣るのであります 羊は綿羊及び山羊の二種があります肉は蒙古人の主食物であり皮は着衣に用ひ毛は毛氈に織りまして用途最も廣く日常生活上羊は缺く可からざるものであります 駱駝は北方にありまして南方には產しません

鑛業

第七は鑛業であります、熱河の經濟的價値は主として鑛產資源の豐富に依るのでありまして滿洲國の資源價値に大なる寄與をするのは熱河の鑛物であります

石炭は今日迄明かになつて居るものでも頗る豐富で朝陽縣下の北票炭鑛は有名で有ます錦州から此地に鐵道の支線が布設されて其間九十里程で鑛區約十二里半に及び炭質良好で埋藏量は一億四千萬噸と計算されて居ります支那の官民合辦組織で採掘せられ年產額四五十萬噸で有ました、又阜新炭田は埋藏量十一億噸と云はれ大通線の新立屯驛から六十二里計りの所に有ます此附近は一大炭田を形成して居ます唯交通不便の爲め且資本過少にして從來は事業か進捗せず年產は僅かに一萬八千噸と云はれて居ます又氷溝炭鑛と云ふは凌源の南卅里に在り炭量は豐富なるも年產は約一萬噸に過ぎません又赤峰を中心とし東北より西南に亙りたる一大炭田地帶は最も有望なる鑛產地帶で有ます

此他平泉、灤平、隆化、及び承德の各縣に各數ケ所の石炭產地がありますか事業甚た振はず此他奉天省との境界に近い所は凡て炭田と云つても良い位で百姓か小規模に採掘して居る處は枚擧に遑無き程で有ます

岡村參謀副長の談に朝陽より赤峰に飛ぶ中機上より農家を眺めたるに極めて小規模に石炭の露頭を採掘して居る家か數々ありましたか此邊は珍らしく無いのだと聞かれたと云はれました以て其一斑を知るに足ると思はれます

金鑛に就て一言致しますが陰山山系は全部金鑛を含むと云はれて居る位ひ金鑛に富んで居ります、殊に朝陽附近の金鑛の如きは往昔より稼業させられ居るも資本及技術拙なく成績擧らず將來豐富の資本と進步せる技術とに依り大に一般に此富源を開拓する期の遠からさるを信ずるものであります

又砂金は甚た多からさるも相當有望視されて居ます

銅鑛は滿洲の他の部分には甚た稀なるも熱河省内に於ては民國五年の頃には銀の產額は支那第一であつて千百餘斤を產し將來有望なりと認められて居ます、就中隆化、灤平、平泉の三縣内には多數の產地か在ます

珠玉を碎く
送別會（三）
吉井勇 作　（高根秀浩畫）

京子は多くの視線を、眩しがりながら、ボオイに導かれて、隅の方の卓子の空いてゐる席に着いた。京子の後から續いて姿を現はした二人の女も、丁度うまい工合に同じ卓子に、並んで三つの椅子が空いてゐたので、離れ離れにならないでも好かつた。京子と一緒に來た二人の女の中で、年を取つた方は、もう三十を三つ四つ越えたかと思はれる位の年格好で、痩せて目の大きいあまり美しくない女だつた。が、若い方は十八九位の、微に白粉の下から皮膚の浮いてゐるのが、かへつてこの顔を美しく見せるやうな、何處か男好きのする顔の女だつたが、しかしかうして京子の傍にゐると、まるでその影に蔽はれてしまつたやうに目立たなかつた。

「あれは、君、みんな女優さんかね」

「あゝ、さうだよ。京子の

るのが……さ」

「あゝ、よくお婆さんの役ばつかり演る……」

「うん、それからその隣が近頃ちよつと人氣のある春野照子さ」

「さうか。あれが春野照子か。そんなに美人ぢやあないぢやあないか」

やゝ離れた卓子では、こんな會話が低い聲で取り交されてゐた。それは職業からは縁遠い、ちよつと會社員と思はれるやうな樣子をした人達だつた。

京子達の卓子は、自然さういふことになつたのだらうが、女流作家や閨秀畫家や、それから女優と言つたやうに、この宴席の中での女人國を形造つてゐた。加茂川ちどりといふ女流劇作家の金縁眼鏡を掛けた顔や、田中早苗といふ閨秀畫家の中でも花形と言はれてゐる人の白粉の濃い顔も、やつぱりその卓子の、丁度京子達と向ひ合せのところに見えてゐた。ちどりは京子から會釋をされると、いくらか羨望のつもりで訊いた。

「よく來られたわね。もうあなたの體空いたんですの」

「えゝ、昨夜までで、二晩目には丁度用のない體だつたもんですから……」

「あゝ、さう……。今度のあなたの『野崎』のお光は大變評判ですつてね」

「いゝえ、駄目ですわ。唯教はつた通りに演つてゐるだけなんでございますもの……」と、ちどりは惡戯つ子染みた微笑を浮かべて、

「だつて教へる方は梶掬さんなんですもの」

「梶掬さん」と言ふのは京子とうわさのある中村梶十郎が、梶掬に住んでゐるところから呼ばれる名前だつた。

「あら……」

さう言はれると京子は頬を火に照らすやうに赤くしながら、さう言つたきり返事をするのに困つてゐた。が、そこへボオイが遅れ馳せに前菜の皿を持つて來たので彼の女はやつと救はれたやうにナイフやフオークを取り上げて、つつましやかに前菜やソーセジを口の方へ運び始めた……。

食事はテーブルの上に置かれてあるメヌーの通りに、徐に順序よく運ばれて行つた。京子は席に着くなりちどりから、所謂「梶掬」のことを冷かされたので、ちよつとどぎまぎしてしまつたが、しかしもうすつかり以前の落ち着きを取り戻してゐた。で、彼の女は目立たないほどに瞳を上げて、先づ主賓のゐる眞ん中のテーブルの方へその視線を投げ始めた。

主卓の正面にゐる島之助は、相變らず目尻のところに微かに笑ひ皺を寄せて、何か向ふ側の深山俊と話し合つてゐたが、そのテーブルはやつぱり一番色々な人が集まつてゐるだけに賑かだつた。島之助の左右には、今度一緒に瀬戸内巡業の途に上る一座の中心の、幹部格の俳優達—蔦升、延十郎、歌丸、秀之助と言つた連中が、みんな紋付の羽織を着て居流れてゐた。その向ひ側は深山俊を中心として、劇評家や興行師と言つたやうな人達がゐたが、京子の目はそのテーブルの一番端のところまで來るとぴたりと止まつた。

暴虐 支那人怪漢 我歩哨兵に斬付く

重傷を負はせ逃走を企てたが 犯人は直ちに逮捕

（北平廿日發國通至急報）本朝午前九時半怪しきトラツク交民巷の日本兵營表門より兵營内に乘入れんとし、歩哨がこれを制止せんとするや一支那青年車上より躍出で、歩哨の左肩に重傷を負はせた、歩哨は重傷にも屈せず勇敢にも血に染みつゝこれと格鬪青龍刀を奪取るや、支那青年は逸早く自動車に飛び乘り逃走したが、折柄急を聞いて驅けつけた高宇治憲兵上等兵はこれを追走して飛乘り青年に組みつき、後より驅けつけた望月特務曹長と協力遂に犯人を逮捕し目下嚴重取調中

我歩哨傷害事件で 天津の空氣も俄然緊張

（天津二十日發國通　至急報）我歩哨支那青年のため青龍刀で重傷を負つたとの報天津に傳はるや、天津方面の空氣は俄然緊張、昨夜の物凄い反蔣運動に引續きこの不詳事件で天津方面の日支間の空氣は又一層殺氣を孕んでゐる

陰慘な空氣に 包まれた天津

住民續々外國租界に避難

（天津廿日發國通）昨夜の唐山、杜毅、李甲三一味の反蔣便衣隊、人民自衞軍の襲撃に大恐慌を來たした支那側當局は、本日午後二時より、支那街一般通行人を一人々々誰何午前四時特別戒嚴令を布き、一方反蔣分子と目せられる者を續々檢擧、反蔣派の大彈壓を行つてゐる、薄暗となり、市街の空氣は重苦しく人民極度に動搖、日本並びに外國租界に逃げ込む者引きもきらぬ有樣である

日英佛租界は 避難民で滿員

借家旅館は四五倍に値上

（天津二十日發國通）天津一帶の動搖に支那人はこゝ十日ばかり續々日英佛租界に荷物をまとめて移轉しつゝあり、これが爲め日英佛租界の借家旅館はどんどん値上げを初めたが、昨夜より今曉にかけての反蔣便衣隊の活動に避難者激増借家、旅館は遂に四五倍の暴騰を來し空間ですら借手の山と云ふ有樣を呈してゐる

九松山一帶の支那軍

懷柔に向け潰走

（北平二十日發國通）十八日以來九松山一帶に於て頑強なる抵抗を續けてゐた敵軍は空軍と協力せる我軍の猛擊に死傷者算なく、終に十八日夜九松山を抛棄潰走し、我軍を密雲に喰ひ止めんとしたが、同方面は中堅にして防禦に不利と見て目下懷柔に向け總退却した敵は同陣地を古北口、北平大道の最後の攻防地として死守してゐる

韓復榘部隊を 德州より運 窩鎮に北上

（天津廿日發國通）支那軍敗殘兵は津浦線で南下の模樣に韓復榘は二三日來德州の部隊を窩鎮に北上せしめたが、津浦線により南下する敗殘兵の暴動化を恐れこれが牽制策に出たものと見られる

支那駐屯慰問使 阿南侍從武官離津

（天津二十日發國通）支那駐屯軍慰問の聖旨並に令旨を帶びて、來津の阿南侍從武官は重大使命を終り、時局柄北平行きは中止され、二十日午後一時中村軍司令官、桑島總領事の盛大な見送りに裝甲艇で離津された

薊縣陷落の報に 通州方面大混亂

住民敗兵の掠奪を恐れ避難

（天津廿日發國通）我前戰部隊の薊縣占領に通州方面は、大混亂に陷り、各地に兵變起り、通州方面の住民は敗殘兵の暴行掠奪を恐れて續々北平に避難しつゝあり

滿洲問題に就き 米國へ警告す（五）

米國記者ナサニールペッファー論説

自由主義と云ふ言葉の解釋に拘泥する限りに於て全くとは云はないまでも日本人の自由主義の分る亞米利加人はない

普通一般に云ふところの自由主義は半官的辯護人の如き性質のものであるが日本人のは何等他方より影響を受けない種類のものである

日本人は滿洲問題に限つてはその政府を支援するであらうし亞米利加人は何事に關せず總て政府を保持するであらう

讓歩と云ふ事は合衆國に取つて誠に人間の惡い事に違ひない、一つには威信に關する事であるが更に重大な事は亞米利加政府は氣紛や一時的衝動に依り進退してはならないと云ふ事である

ほんの僅かに感ぜられそして亞米利加國民の曾て知らなかつたものであるが、過去三十年の間存在して居た一つの傾向を今亞米利加政府は明みへ持ち出したのである

人種的に同族關係を有し、文化的線故共通の歷史的起原と發展とを有し「ダニューブ」河畔の一銀行の破綻が「ミゾリー」洲の一製靴會社の破綻を引き起す程密接なる經濟關係を有する歐洲に亞米利加は決して容喙しようとせず返つて亞細亞滿洲の平原に對しては忽ち挑戰的態度を取り、過去百年間に西歐以上に紛爭を引起して居る地域の渦中にいきなり飛び込むのである、其の他に於ては吾等の貿易は極めて些細で投資に依る利害關係なく居住民の數と云ては一ホテルに收容出來る程のものである

それならば何故滿洲平原に飛び込み挑戰的態度を取るのであらうか

それは實際吾人の注意を引く物質的利害關係からの爲めではないのである、何故だらう！

之は全く新規にやり出したものではない、過去三十年此方吾等は同一方面に向つて進んで來た、二十年以來日本が强大になるのを斷然妨害して來た爲めである

支那、滿洲及「シベリヤ」に於て日本が妨害された場合があつたならばそれは亞米利加の妨害に外ならなかつたのである

日本の大袈裟な夢想が危險に陷れるにせよ、せないにせよ世界の安全とは別物である、日本は勿論危期に瀕しては居らうが此の場合吾人に無關係である

要は只四千哩彼方の感知し得る程の利害關係をも有せない亞米利加が「事前の狀態挑發」と云ふ重荷を引受けて念入りにも判然たる强國の兵士に戰を挑むとは一體何故であるか之が明なる亞米利加の運命であり得るのだろうか、それとも西方に向つて吾人を驅り立てる神秘があるのだらうか

北平へ々々々

自動車部隊が急追

坂本部隊は依然追擊の手をゆるめず敵を急追してゐるが松田部隊向井部隊を合せ指揮して平谷東北方一里にある鎮山集に又服部部隊は薊縣に侵入したが二十日早朝自動車部隊をもつて北平街道を三河方向に急進せしめ主力はこれに續行した、興隆縣方向より險峻なる山岳地帶を踏破して關内に進出した鈴江支隊も亦二十日薊縣に到着して服部部隊のれい下に入つた

波蘭土新聞記者來京

波蘭土ジエナウ、ポロテ新聞社特派員アレキサンダー・ヤンタ氏は滿洲視察の爲昨日來京、近く山海關方面へ赴く筈

聯盟脱退に伴ひ 全代表正式に被免

（東京二十日發國通）聯盟を正式に脱退したので帝國代表と隨員被免の御沙汰があつた

聯盟總會臨時會議の帝國代表を免ぜらる

永野修身　佐藤尚武

澤田節藏　堀田正昭　伊藤述史　建川美次

同じく隨員を免ぜらる

滿洲國軍先鋒 遂に塘坊に達す

何柱國軍盧臺放棄を準備

（天津二十日發國通）北寧線正面滿洲國軍最前線は遂に本日塘坊に現はれ、一葉盧臺を衝かんとしつゝあり、一方唐山に反蔣旗を翻へした杜毅、李甲三軍はひしひしと天津に向つて進みつゝあり、何柱國は遂に支へきれず盧臺放棄を準備中である

南市方面に 轟然たる爆音

目下原因取調べ中

（天津廿日發國通）昨日の反蔣便衣隊の蜂起に支那側官憲極度に緊張嚴戒の折柄、本日午後八時またまた支那側南市方面に轟然たる爆音轟き人心いやが上にも動搖、目下原因取調中である

張海鵬將軍 承德へ向ふ

（奉天二十日發國通）熱河警備軍總司令張海鵬將軍は午後八時五十分奉天發承德に赴任した

敗敵なほも 熱河侵入の機を窺ふ

劉桂堂は護國軍を改編して東亞同盟軍を編成し十九日各方面に通電を發したが李守信軍も十二日又王永盛軍も十三日それぞれ多倫に到着し事後の前進準備をとゝのえてゐる沽源には湯玉麟軍、馮占海軍約二萬赤城には孫殿英の林下部隊約一萬檀白新の約二千が居りなほ張家口には馮作義軍一萬が駐留し虎視眈々と再び熱河省内に進出の機をうかゞつてゐる

小林大將 第一艦隊司令長官を兼職

（東京廿日發國通）從來聯合艦隊は第一第二兩艦隊を以て臨時的に編成され、小林第一艦隊司令官が兼職となつてゐたが、海軍では今回聯合艦隊を常備とすることに決定したので長き還りでは二十日小林大將に對し聯合艦隊司令官を本職となし第一艦隊司令長官を兼職する御沙汰あり、因に同大將は目下海上勤務中に就き親補式を行はせられず内閣より海軍省を經て其官記を傳達された

第一艦隊司令長官
兼聯合艦隊司令長官
海軍大將正三位勳一等功五級　小林躋造
補聯合艦隊司令長官
兼第一艦隊司令長官

尚その他幕僚に對しても右に伴ふ辭令が發令された

五月中旬 十六港外國貿易概算

（東京廿日發國通）大藏省發表に依れば、五月中旬十六港外國貿易概算左の如し（單位千圓）

項目	金額
輸出	四六、九一九
輸入	五九、三六一
合計	一〇六、二八〇
入超	一二、四四二
自一月以降累計	
輸出	六〇五、〇三二
輸入	八一七、〇六〇
合計	一、四二二、〇九二
入超	二一二、〇二八

在哈白系露人 ホルワット一派と

絶縁を決議

（ハルビン二十日發國通）一部の白系露人がホルワット及びデチエリクス等に使嗾され反滿洲國の陰謀を企圖した眞相發表されるや北滿の白系露人は擧つて極度のショックを受け各團體は先般來寄々協議中であつたが、ハルビンの白系露人同志クラブはホルワト、デチエリクス一派と絶縁する事を協議して露字紙新聞を通じその旨を聲明してその立場を明らかにした、即ち右白系露人クラブはホルワット一派と何等の關係なく一派は白系露人の面子を毀損するのみならず一般白系露人の敵と見做すべきである更に滿洲國の治下に安住する白系露人は王道政治滿洲國の加深度的發達に微力を盡すことホルワット一派とは寸毫も協力するものでないと今回の事件に憤足してホルワット一味に絶縁狀をたゝき付けた形である

活氣があるねー

大淵滿鐵東京支店長語る

滿鐵東京支社長大淵理事はかねてより來滿中であつたが二十日午後七時五十分着鳩でぶらりと來京ヤマトホテルへ投宿したが氏は語る

今回の來京は別にこれと云ふ用事はない、昨年十月林總裁と來ただけなので其後の發展ぶりを見に來たまでだ今着いたばかりなのでよく判らないがなかなか活氣があるね、北鮮鐵道移管問題は勿論旨く行くよ、大綱に於ては完全に兩者の意見は一致して居る只細則の問題で結局兩者の歩みよりにより時期が解決してくれるだらう、二十一日は各方面の人と會ひ各自の意見を拜聽二十二日の鳩で歸へる心算だ竹中理事の來京とは全然關係がない

首相園公を訪問

時局安定の熱意を披瀝

藏相との會見で政局一應安定

（東京二十日發國通）政局不安の原動力となつて居る藏相を「慰留」するため齋藤首相は二十日園公を訪問、時局安定の熱意を披瀝、藏相の慰留について園公の諒解を求めた結果園公も藏相慰留が時局拾收の最も策を得たものと考へて居ることは勿論であり、首相に對しても或種の意思表示をしたものと觀られるから、首相は二十一日歸京、二十二日藏相と會見、慰留手段を取る事とならうが、當の藏相は倒閣の動因となるが如き場合は辭任しないと言明して居り、首相が全力を擧げて慰留する場合は一應留任する事となる模樣であるが、然し藏相は氣分本位の人で、今後如何なる態度に出るか判らぬ人物であるため、確實に首相、藏相の會見の結果を豫測し得ないが大體に於て二十二日の首相「藏相」の會見に依つて政局は一應安定するものではないかと觀られて居る

政友會の倒閣策謀に 藏相反感を抱く

（東京廿日發國通）高橋藏相は記者團との會見で、留任の意を暗示したが、蓋し藏相は政友會が自己の進退を倒閣の具に供せんとするに反感を持ち、例へ辭意を翻へし得ずとしても周圍の事情が平靜化するまで留任するだらうと見られ

一方園公も齋藤總理に提出した藏相留任の件を支持し、廿二日の會見に於て留任を懇望し、藏相もこれを承諾すると見られ、暗雲低迷の政界は茲に藏相問題に關する限り落付く譯だが、政友會がこれに追隨し[illegible]入りするか、又は辛抱しきれず積極的に局面展開を企圖するか不明で、政局の暗雲一去一來である

藏相語る

（東京廿日發國通）高橋藏相は二十日三土遞相と會見後語る

我輩と鈴木總裁との關係は天地神明に誓つて恥づる事はない、我輩は今でもこの身體では充分やつて行けないと考へて居るが、倒閣の傀儡になることは御免蒙る

藤原郵務司長歸京

日滿合辨通信會社設立及其他重要打合せのため上京中の交通部郵務司長藤原保明氏は廿日午前八時交通部關係者の出迎へを受けて無事歸任した

人事往來

▲出光海軍少將（侍從武官）二十日午後七時五十分來京
▲大淵理事（滿鐵）同上
▲多田少將（滿洲國最高顧問）同上
▲小磯中將（關東軍參謀長）二十一日午前八時歸京
▲山本一等主計正（關東軍司令部附）二十一日午前八時四十分ハルピンへ
▲馬場中佐（騎兵第〇〇聯隊）二十日午後四時三十分南行
▲竹中理事（滿鐵）二十日午後三時三十五分來京
▲廣島小田商店團二十五名二十一日午後七時五十分來京
▲大阪淀川區校長團六名二十一日午後三時三十五分來京
▲京城第二普通商業生八十七名二十一日午前六時四十分來京
▲福岡縣教育視察團二十五名二十一日午後一時三十四分來京
▲文部省主催女教員視察團二十三名二十一日午後三時三十五分來京
▲大瀬東京文理科大學長　滯京中のところ二十三日午前八時四十分ハルピンへ、二十五日午後三時三十五分歸京、南行
▲山本高等師範教授同上

團體

▲ビューロー主催視察團百十四名二十一日午後七時五十分來京
▲東京府立第三商業學校生三十三名二十一日午後十時南行
▲宮崎縣都城商工學校生四十三名二十一日午前六時四十分來京同午後零時四十分南行

匪賊の襲來に備へ 大密林を伐採

木材拂底の際 一石二鳥の企て

滿洲國民政部では[illegible]小匪賊出沒の恐れがあるので之が對策につき所轄吉林省警務廳と協議中のところ今回實業部及吉林省實業廳が主となつて經費二十九萬三千圓を投じ[illegible]沿線一帶の密林を伐採し匪賊の襲擊に備へる事となつたが木材拂底の折柄この一石二鳥の企ては非常に期待されてゐる

一夜に三件の 強盜出現

二十日午後八時頃人通りも未だ多い新京市内三個所に時刻を同じうして三組の拳銃強盜出現、怡蕩たる春の夢追ふ市民を恐怖の坩堝に陷れてゐる

△二十日午後八時頃市内大和通り五九滿人歸力榮楊福山方に小型拳銃所持の滿人強盜裏戸をこぢ開けて押入り家人を脅迫して金票九圓、吉大洋六圓を強奪逃走

△同時刻頃梅ケ枝町四丁目四滿鐵夜警員高守寬方に二人組拳銃強盜侵入、金票九圓、現大洋三十七圓、金指輪二個を強奪逃走

△朝日通り大利號店員晉福民及び馬春仁方にこれまた同時刻に二人組滿人強盜押入り、怖へる家人をおどしつけて金票五圓、現大洋四十圓を強奪、悠々と表口より逃走、行衞を晦ました

急報に接した新京警察署では一夜三件の強盜事件の發生に全署員の非常召集を行ひ、全市に亘つて警戒網を張り犯人搜査を續けて居る

籠の鳥は 自由の空に 娼妓取締規則改正

〔東京廿日發國通〕籠の鳥として住居並に外出の制限を受けてゐる娼妓の取締規則の改正に就ては過般來考究中だつたが今回愈々明治三十三年十月公布の娼妓取締規則中第七條第二項の外出制限の項を全部削除する事に決定、來る六月十二日より實現することとなつた、これにより未だ十分とは言へないまでも永年自由を剝奪されてゐた娼妓に對し、一脈の光明が齎された譯である

興安省内警察各機關 無電、鳩で連絡 警備計畫の統制なる

興安省當局は各警察官廳、警察官の充實に努めつゝあるが興安省は沙漠地多く交通も不便でありこれら警察機關相互間の連絡に圓滑を缺ぐうらみ少くないので關係當局たる總務警務科においては豫てよりこれが連絡方法につき研究中の處今回愈々具体案を得、近く具体化する事となつた右案によれば現代科學の寵兒たる無電機を以て長距離連絡に充て一方小距離の運動連絡には鳩を以て統制をなすものである

英人拉致の匪賊 海岸に陣地を築いて蟠居

〔營口廿日發國通〕盤山海岸に拉致されてゐる英人及び海賊の情況偵察に赴いた河南警備機は、盤山西方約廿一粁の海岸線に達するや、猛烈なる射擊を受け機體に故障を生じ不時着したが修理の結果十八日歸還した

同機の齎した報告に依れば海賊は忠厚、老實人、海隣、の約八十名であるが、大型のヂヤンク五隻に英人三名を分乘せしめ、一部の海賊は海岸寨の叢陰に隱れ前方高地には塹壕を築き小銃を持つて步哨が立ち宛然一陣地を構築してある

山口縣慰問團 大連着

〔大連廿日發國通〕山口縣小西内務部長を團長とする山口縣會議員よりなる十二名の山口縣軍隊慰問並びに滿蒙の實業視察團は、本日午後一時半うすりい丸で來連したが、旅大視察の後、鄭家屯、チチハル、昂々溪等の軍隊慰問後ハルビンを經て卅一日新京着の豫定である

廿四日に 天覽馬術

〔東京廿日發國通〕天皇陛下には既報の如く馬術獎勵の御思召をもつて二十四日宮中内馬場に於て天覽馬術を行はせられる旨二十日仰出されたる當日 御前には出場の光榮を給ふた人々は近衞第一師團憲兵隊所屬の乘馬を有する上長官以上及び選拔尉官並に馬術優秀なるものとしてオリンピツクで優勝した西中尉始め當時の馬術選手一行も出場する筈で二十日午前九時より一時半宮中本馬場で其の豫行をなした

第廿一回 滿洲醫學會

〔大連廿日發國通〕第二十一回滿洲醫學會は、廿日午前八時より、大連醫院二階講堂に於て守中會長の挨拶、[illegible]後、長官、滿鐵總裁の祝辭あつて研究發表あり、慶大教授清野博士の特別講演あつて午後四時第一日の日程を終つた、二十一日も引續き開催される

◇海軍編◇ 海洋の飛行根據地 航空母艦の話 ……(五十)

航空 母艦は多數の飛行機を搭載してゐる艦で必要の際思ふ處へ航行して飛行機を飛ばし戰鬪に加はらしめ味方航空隊に充分の活躍をせしめ、又再び歸つて來た機は殘らず艦内に收容するものなのである。以上の關係から速力は出來る得る限り速いのをいいとされてゐる。

歐洲 大戰の頃は未だ此種艦は餘り發達してゐなかつたが、その後飛行機の發達に伴れて、現今では艦隊の一要素として缺く可からざる艦種となつてゐる。

無線機の發着はその廣大な甲板上で行はれ、艦は風上に向けて航走し、機はそれを追つて艦尾から艦首の方へ發艦するので

荒天 波濤の高い場合など限られた甲板上へ離着するには餘程巧妙な操縦技術が無くては難かしい。

構造は一見出來損ひの船の様であるが、飛行甲板は所謂移動飛行場と稱へられる式のもので邪魔になるマストや煙突は悉く倒す事が出來る様になつてゐるか、しさうで無いものは、一方に片寄せて設置されたもの等がある。又、

司令 塔等も水壓に依つて自由に上下するが、航空母艦は他の艦種に比べると大分特異性が認められる。

殊に厄介なのは煙や蒸氣の始末であつて、之が爲め、艦の最上甲板の下を水平の煙道で艦尾に導いたり艦の中央で前方に於て空中氣流の攪亂され[illegible]

煙道 を水面へ斜に曲げて吹き下す様裝置するなど、この煙の始末には各國等しく苦んでゐる。我航空母艦『赤城』はその最大なもので排水量は二萬七千噸、速力は廿七節を出し、二[illegible]を備えてゐる。[illegible]は航空母艦加賀二六九〇〇

陣中美談 (十三)

零下四十數度の夜を徹して 大行李を輸送

騎兵第大[illegible]隊第一中隊 騎兵特務曹長 乙守五三九

第六師團は三縱隊となり二月二十三日打通鐵道沿線を出發折柄の大吹雪に荒れ狂ふ荒野を横切りて西進を開始す、中央縱隊たる神代部隊は大行李二十五車輛の指揮を乙守特務曹長に命じて勇躍前進を開始す

大行李は砂丘を横ぎに洗ふ吹雪を冒し或は氷上に倒れて動かざる輓馬車輛諸共に人力牽引をなし或は各車輛の輓馬を集結して一車毎に坂路を越へ、或は馬夫を勵まし或は叱咤しつつ漸く其日の行程十里半に達する頃已に日沒となり日沒と共に天候は益々荒れ狂ひ加之人馬、燃料、水共に無く刻々迫る寒氣と空腹と疲勞とに馬は相次で倒れ馬夫は動かず部下の兵亦士氣沮喪せんとす、責任の重きを知る特務曹長の心中や如何

「我等は大行李と運命を共にせん、最後の一人迄輸送を繼續せよ、斃れて後は魂を以て輸送せよ」

とは當時特務曹長が血を吐く思ひにて部下を勵ましたる悲壯なる言辭なり、斯くして零下四十數度の夜を徹して輸送を續行し、翌二十四日天候の恢復に元氣を出して其日の夕刻目的地たる哈拉套街に達するを得たり、隊長に報告後直ちに部下を慰撫して自ら凍傷の手當を勵行したる結果僅かに輕症三名に止るを得たり。

此間實に二晝夜特務曹長は不眠不休部下を督勵して輸送の任を完うしたるに拘らず、該輸送の事に及ぶやのその結果を部下の精勵に歸し敢て自己の勞に言及せずその獻身的責任觀念と部下に對する愛情とは以て軍隊指揮官の模範とするに足るべし。

身を以て 隊長を庇ふ

步兵第四十七聯隊乘馬隊 陸軍步兵一等兵 吉村一郎 山室見守 同 岩本一衛

昭和八年四月十日步兵第四十七聯隊乘馬隊の白津格を突破し、敵の退却狀態を確むべく出發するや白津格西側の敵は堅壘に依り機關銃、小銃火を注ぐこと雨の如し敵中日章旗を掲げたる敵の機關銃猛威を逞ふすること最も大なり、此時決死の乘馬隊は敵に前進を阻止せられては皇軍の威信に關すると野猪の如く驀進するに敵は我の志氣を奪はんと先づ先頭にある隊長を殲すべく狙擊しその危險頗る大なり此時一等兵吉村一郎山室見守、岩本一衛互に身を以て障壁となし以て隊長を掩護しつつ前進す。敵彈足下に落下するも敢て屈することなし

偶々隊長の石に躓き轉倒するや狙擊せられたるものと思惟し、直ちに敵火の方に伏臥し身を以て障壁となす。此時敵は岩上より手榴彈を投ぜんとせしも間一髮之を射殺す。敵はもんどりうつて轉落す。隊長の立ちたるや破顏一笑、爾後敗退する敵に肉薄し或は突破し常に余に拔きんず、尚同人等は四月十一日乘馬隊の還安城を占領するや傳騎となり敵中を横斷し之を旅團に報ず途中敵に遭遇すること數次、或は巧に之を脫し或は之に打擊を加へ敵中を徘徊すること六時間、よくその任務を達成せり然して還安城を占領せる乘馬隊の人員寡少なるを憂へ再び危險を侵し敵中を横斷して午後十一時三十分原隊に復歸せり。その責任觀念の旺盛にして隊長を思ふの念切なる正に香り高き戰場美談の随一なり

第四水源地の 工事漸く進捗 愈よ來月中に完成

水不足に惱む新京市民に取つて待たれる第四水源地、工事も近頃漸く進捗し、その第一期工事(前年度持越し)は豫定の六月十五日までには今のところ竣工は覺束ないが遲くも六月中には完成されることとなつた、これで從來同水源地から新京市民のために供給されてゐた毎日の水量四百トンが一躍千トン程度に增加されるわけで用水難もよほど緩和されるわけである、なほ同工事に引續き第二期(本年度)工事に入るべく、全部を終るのは今秋十月の見込で、これが全部完成の曉は新京の水問題も全部解消され、この冬ごとは斷水の憂き目を見ることなく、何らの不安なしにすむわけである

東大考古學者等 渤海國時代の遺蹟 調査の爲來滿

〔大連廿一日發國通〕東京帝大教授池内宏、同原田淑人兩博士外五名の考古學者は、廿日入港うすりい丸で着連、近く奥地に向ひ未だ考古學者にて手をつけて居らぬ、吉林、敦化、寧安方面の調査を行ふ筈であるが、同地方は渤海國時代の遺蹟が多いので、これら權威者の調査により考古學上貴重な發見あるものと期待されてゐる

三星丸 佐世保沖で坐礁

〔門司二十日發國通〕尼ケ崎汽船會社の貨物船三星丸(九一五噸)は廿日午前四時佐世保沖で坐礁した、急報により東京サルベーヂから東丸が救助のため現場に急行した

二愛息の喪 にも服せず 政務に精勵する 熙洽總長

熙洽財政部總長は數日前二令息を猩紅熱の爲失つたが、國事多端の折柄とて喪に服せず政務に精勵、側近者を感激せしめて居る、尚同氏は榮惠王大邸飛去弔問の爲、十九日吉林より來京、執政府を訪問即日歸家した

軍司令部の 故白川大將の 一週年追悼會

來る廿六日は、昨年上海派遣軍司令官として、出征同地野戰病院に於て薨去した故白川大將の一週年祭になるため關東軍に於ては、二十六日午後三時より新京高等女學校講堂に於て追悼會を催す筈である

拳銃を持つ 滿人男 格闘の末捕る

二十日午後八時ごろ新京署谷口刑事の一隊が梅ケ枝町大和通の二ケ所を襲つた强盜犯人搜査中四條通にさしかゝつた際挙動不審の滿人男が徘徊してゐるを發見誰何するや件の男は直ちに逃走を企てたが追跡大格闘の末逮捕取調べると懷中にモーゼル拳銃一挺と彈丸二十發所持してゐた

羽田飛行場で 海軍報國號 命名式

〔東京廿日發國通〕海軍では廿一日午前九時半大角海相臨場のトに羽田飛行場で報國號第廿九、第卅、第卅四、第卅五號の命名式を舉行の筈だが、第廿九號は全國中學教職員の、第卅五號は生命保險證券會社關係者より、第卅號は勞働組合石川島自彊組合の獻納にかゝるものである

早川雪洲 獨立プロを起す 伏見直江も參加

〔東京二十日發國通〕早川雪洲は、今回獨立プロダクションを起すこととなつたが、これに伏見直江も參加する筈である

安東より 安奉線で 番犬を使用

〔安東發〕かねてより滿鐵本社に於て考慮中の驛、鐵道線路の警戒に番犬を使ふことは安奉線では本溪湖、雞冠山に二、三頭宛及び安東に數頭を配置して警備を爲すに決定した、安東驛で右に依り最近急激に增加した貨物荷動きの情勢よりしてこれが必須を痛感してゐた際でもあつたので取敢ず第一に犬害の迷惑にさりかゝることゝなつたが之が實現のあかつき効果相當あるものと期待が懸けられてゐる

早大大勝 對帝大リーグ戰 10A—0

〔東京二十日發國通〕早大對帝大野球戰は本日午後二時十分帝大先攻で開始されたが、結局左のスコアで早稲田大勝閉戰四時三十七分

帝大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	2	2	0	0	6	0	0	A	10

△バッテリー 帝大 篠原、梶原—坪井、山[illegible] 早大 稲田、三浦

原木受渡しに 寸檢選別

〔安東發〕鴨綠江採木公司では安東材木商組合側との交渉に依り今後原木受渡の際は買受人の立會の下に寸檢、選別を行ふことに意見纒り又た荷材はB材の單價にて取引を爲すなど一般製材業者の立場を有利ならしめることゝなつた

A材 正木の無疵
B材 立枯、曲材、裏木
C材 鐵砲虫、腐り

三井吳服店 大賣出し 素晴しい賣行き

三井吳服店の太子堂における初夏向吳服洋品雜貨大賣出しは新流行品の多種なのと製產原價を無視した廉價なので人氣を呼び殆ど身動きならぬほどの客で早くも賣盡とうさいふ有様である、なほ同賣出しは二十三日の午後十時まで、である

ラヂオ欄

二十二日(月)新京

奉天後四、〇〇 レコード 錢行 金銀相場商業通信計
新京後四、三〇 演藝
新京後五、〇〇 講演 關於[illegible] 新京特別市政
新京後五、三〇 ニュース 新京特別市政公署 [illegible] (滿洲語)
東京後六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 演藝又ハ講演
新京後七、〇〇 ニュース (蒙語)
新京後七、一〇 ニュース (露西亞語)
新京後七、二〇 ニュース (朝鮮語)
新京後七、三〇 ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、〇〇 演藝
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯